

第3回 報告書

- 1 日 時 2024年9月7日(土) 午後1時30分～3時30分
- 2 会 場 水戸市民会館 中会議室 303・304
- 3 参加人数 《73名》(中高生 2/一般 51/会員 20)
- 4 内 容

(1) 第1部 講演

演題 「地域の文化遺産とは 一ひと・まちが輝く未来の設計―」

講師 建築家 横須賀満夫 氏

<講演内容>

横須賀氏から、人の流れを生み出すパーク&ウォークの思想で設計された水戸市民会館、さらに櫓づくりや西側のガラス面の持つ意味などについて設計者の思いと周辺のリ開発への期待が語られた。さらに、切妻屋根の連なりや旧園舎のレンガの再利用などで歴史を紡ぐ少友幼稚園園舎、国道を走る車からの視線を意識した JAF 茨城支部のオフィス、水戸の祭りを期待させる広場スペースのあるアダストリア本店などの設計が紹介され、ひと・まちが輝く未来の創造を感じる講演であった。

(2) 第二部 水戸市民会館 施設見学

やぐら広場、特別室、展示室、料理室、スタジオ室等水戸市民会館運営事務局や横須賀満夫建築設計事務所の方から説明を受けながら見学を行った。

(3) アンケートの主な内容

- ・内容がとても良かった。
- ・地域文化遺産について考える切っ掛けになった。
- ・ユネスコ活動に興味を持った。
- ・地域遺産の素晴らしさに気付いた。
- ・建築は、人と街をつなぐものであることが分かった。
- ・文化遺産に関する取り組みについて説明をして欲しかった。

(4) 風景写真

